YAMAHA 2025

サービスマニュアル

Tracer 9 GT+

MTT890D-SK

BVV-28197-J0■

JAS20003

はじめに

このサービスマニュアルは、ヤマハモーターサイクルの販売店および整備士が使用することを考慮して、ヤマハ発動機株式会社が作成しています。一つのマニュアルに整備上の全知識を網羅することは不可能です。そのため、本書を使用してヤマハモーターサイクルの修理および点検を行う場合には、モーターサイクルの一般的な修理に関する基本的な技能と知識を持っていることが前提となります。これらの知識や技能を持たない人が修理や点検を行うと、モーターサイクルの安全性が損なわれたり、使用に適さなくなったりするおそれがあります。修理する際に守るべき基本的な手順については、「ベーシックインフォメーション」（別冊、Y0A-28197-J0*）を参照してください。
ヤマハ発動機では製品を改良するために常に努力しています。仕様あるいは作業手順に関して、改良や著しい変更があった場合には、その内容は、すべてのヤマハモーターサイクル正規販売店に通知され、将来のサービスマニュアル改訂版に反映されます。

要　点

- * 記載内容に改訂が入る場合があり、その場合はマニュアル番号の末尾が繰り上がります。
- 記載内容や仕様などは予告なく変更することがあります。

JAS30001

本書の重要な情報

本書では、正しい取り扱いおよび点検整備に関する重要な事項を下記のシンボルマークで表示しています。

⚠	**安全警告記号です。人に危害を与えるおそれのある潜在的な危険を警告するために使用されます。怪我や死亡の危険を避けるために、警告事項に従ってください。**
⚠ 警 告	**警告は、取り扱いを誤った場合、死亡、重傷・傷害に至る可能性が想定される場合を示してあります。**
注 意	**注意は、取り扱いを誤った場合、物的損害の発生が想定される場合を示してあります。**
要　点	要点は、正しい操作のしかたや点検整備上のポイントを示してあります。

JAS20002

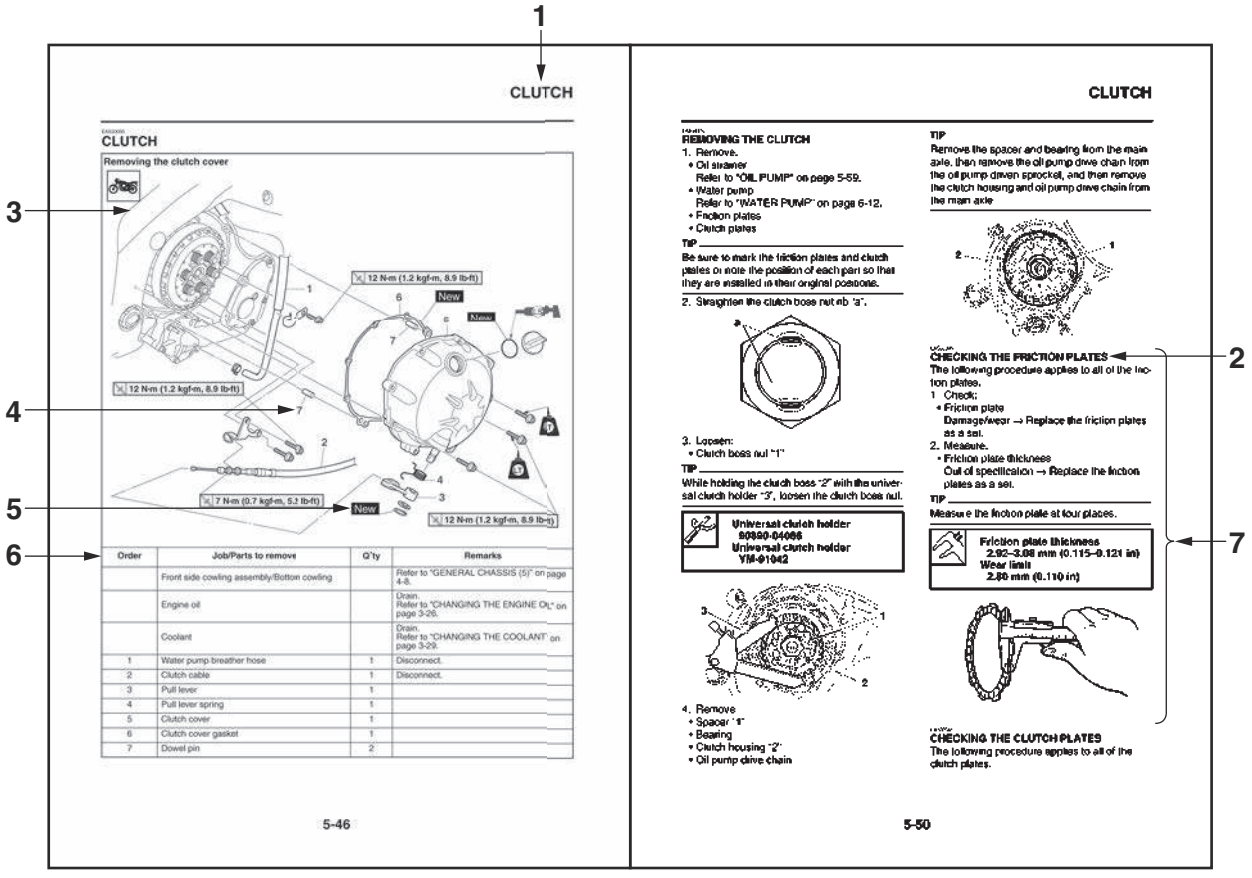
MTT890D-SK サービスマニュアル
2025 年 5 月発行
不許複製
編集発行　**ヤマハ発動機株式会社**

JAS20004

本書の使い方

本書は、整備士のための便利で読みやすいサービスマニュアルとなるように編集されています。取り付け、取り外し、分解、組み立て、修理、および点検のすべての作業手順を含む説明が、個々の手順の作業順に従って記載されています。

- 本書はいくつかの章に分かれ、各章はいくつかのセクションに分かれています。現在のセクションタイトル“1”は各ページの上部に示されています。
- サブセクションタイトル“2”は、セクションタイトルよりも小さな文字で表示してあります。
- 部品の識別と作業手順を分かりやすくするため、取り外しと分解のセクションの最初には分解図“3”を記載しています。
- 分解図中の番号“4”は、作業の順番に従って付けられています。番号は分解の手順を示します。
- シンボルマーク“5”は潤滑または交換する部品を示しています。
  5ページ“シンボルマーク”参照。
- 分解図に整備情報表“6”を添えています。この表は、作業の順序や部品名、作業の留意点などを説明しています。ここでは、取り外しと分解の手順のみを説明しています。取り付けと組み立ては、逆の手順で行います。
- より詳細な情報（特殊工具および技術データなど）を必要とする作業“7”は、連続して記述しています。



G088877

JAS10003

目次

総説編 1

サービスデータ編 2

点検・調整編 3

車体編 4

エンジン編 5

冷却システム編 6

フューエルシステム編 7

電装編 8

自己診断　DTC 9

例：
アジャスティングパッドの番号 = 163
適用数値 = 165
新しいアジャスティングパッドの番号 = 165

f. 新しいアジャスティングパッドとバルブリフターを組み付ける。

要　点

- アジャスティングパッドにヤマハモリブデンオイルを塗布する。
- バルブリフター（トップ側）にヤマハモリブデンオイルを塗布する。
- バルブリフター（アウター側）にエンジンオイルを塗布する。
- バルブリフターとアジャスティングパッドを正しい位置に組み付ける。
- バルブリフターは手で回転させると容易に回ること。

g. エキゾーストとインテークカムシャフト、タイミングチェーンとカムシャフトキャップを組み付ける。

	**カムシャフトキャップボルト** **10 N·m (1.0 kgf·m, 7.4 lb·ft)**

要　点

- 5-23ページ“カムシャフト”参照。
- カムシャフトローブとカムシャフトジャーナルにヤマハモリブデンオイルを塗布する。
- 最初にエキゾーストカムシャフトを組み付ける。
- カムシャフト合いマークとカムシャフトキャップのマークを合わせる。
- クランクシャフトを反時計方向に数回転し、部品をなじませる。

h. バルブクリアランスを再度測定する。

i. バルブクリアランスが規定値以外の場合は、規定値になるまでバルブクリアランスの調整手順を再度行う。

7. 以下の部品を取り付ける。
   - 取り外したすべての部品

要　点

組み付けは取り外しの逆の手順で行う。

JAS30797

スロットルボディの同調

要　点

スロットルボディの同調を行う前に、以下の点検を行う。

- バルブクリアランス
- スパークプラグ
- エアーフィルターエレメント
- スロットルボディジョイント
- フューエルホース
- エキゾーストシステム
- ブリーザーホース

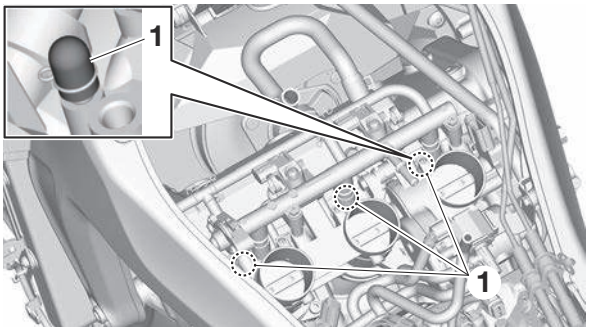
スロットルボディ同調の点検

1. 平坦な場所で車両を垂直に立てる。

要　点

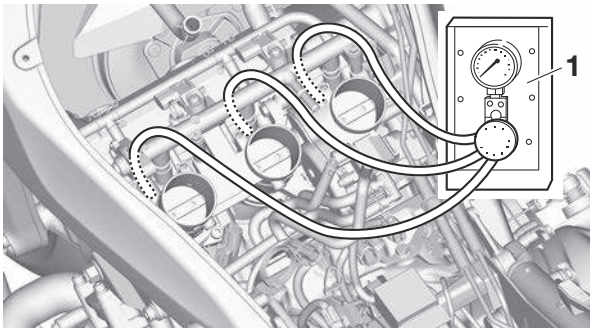
適切なスタンドを使用して車両を立てる。

2. 以下の部品を取り外す。
   - ライダーシート
   - ライダーシートハイトアジャスター
     4-1ページ“カバー類の脱着（1）”参照。
   - サイドカバー
   - フューエルタンクプロテクター
     4-4ページ“カバー類の脱着（2）”参照。
   - フューエルタンクサイドカバーインナーパネル
     4-19ページ“カバー類の脱着（3）”参照。
   - フューエルタンク
     7-1ページ“フューエルタンク”参照。
   - エアーフィルターケース
     4-46ページ“カバー類の脱着（4）”参照。
3. 以下の部品を取り外す。
   - サービスホースキャップ“1”



4. 以下の部品を取り付ける。
   - バキュームゲージ“1”

	**バキュームゲージ** **90890-03094** **バキュームメイト** **YU-44456**



5. 以下の部品を取り付ける。
   • エアーフィルターケース
     4-46ページ“カバー類の脱着（4）”参照。
   • フューエルタンク
     7-1ページ“フューエルタンク”参照。
6. 以下の点検をする。
   • スロットルボディの同調
     a. エンジンを始動して、数分間暖機した後、規定のアイドリング回転数を維持する。

	アイドリング回転数 1200–1400 r/min

     b. 吸入負圧を点検する。

	スロットルボディ間の負圧の差 0–1.3 kPa（10 mmHg, 0.4 inHg）

     規定値以外→スロットルボディ同調を調整

スロットルボディ同調の調整

1. 以下の調整をする。
   • スロットルボディの同調
     a. エンジンを始動して、数分間暖機した後、規定のアイドリング回転数を維持する。

	アイドリング回転数 1200–1400 r/min

     b. 白ペイントマークのあるバイパスエアースクリュー“1”を持つスロットルボディを基準として使用し、残りのスロットルボディをバイパスエアースクリューを回して調整する。

JCA21300

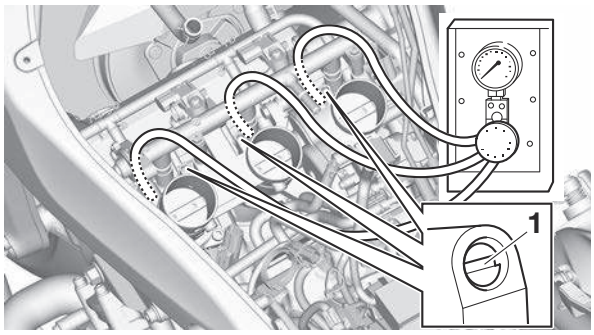
注 意

基準スロットルボディのバイパスエアースクリュー（白ペイントマーク）は回さないこと。このスクリューを回した場合、アイドリング時のエンジン回転が不安定になり、スロットルボディが正しく動作しなくなる可能性がある。

要 点

- キャブアングルドライバーでバイパスエアースクリューを回す。
- 各手順の後で、2−3回（1回につき1秒以内）アイドリング回転数を上げ下げし、スロットルボディの同調を再度点検する。
- バイパスエアースクリューを取り外した場合はスクリューを注意しながら完全に締めこんでスロットルボディの同調調整を行う。
- バイパスエアースクリューで調整できない場合は、スロットルボディを清掃または交換すること。
- スロットルボディ間の負圧の差は、1.3 kPa（10 mmHg）を超えてはならない。

	キャブアングルドライバー2 90890-03173



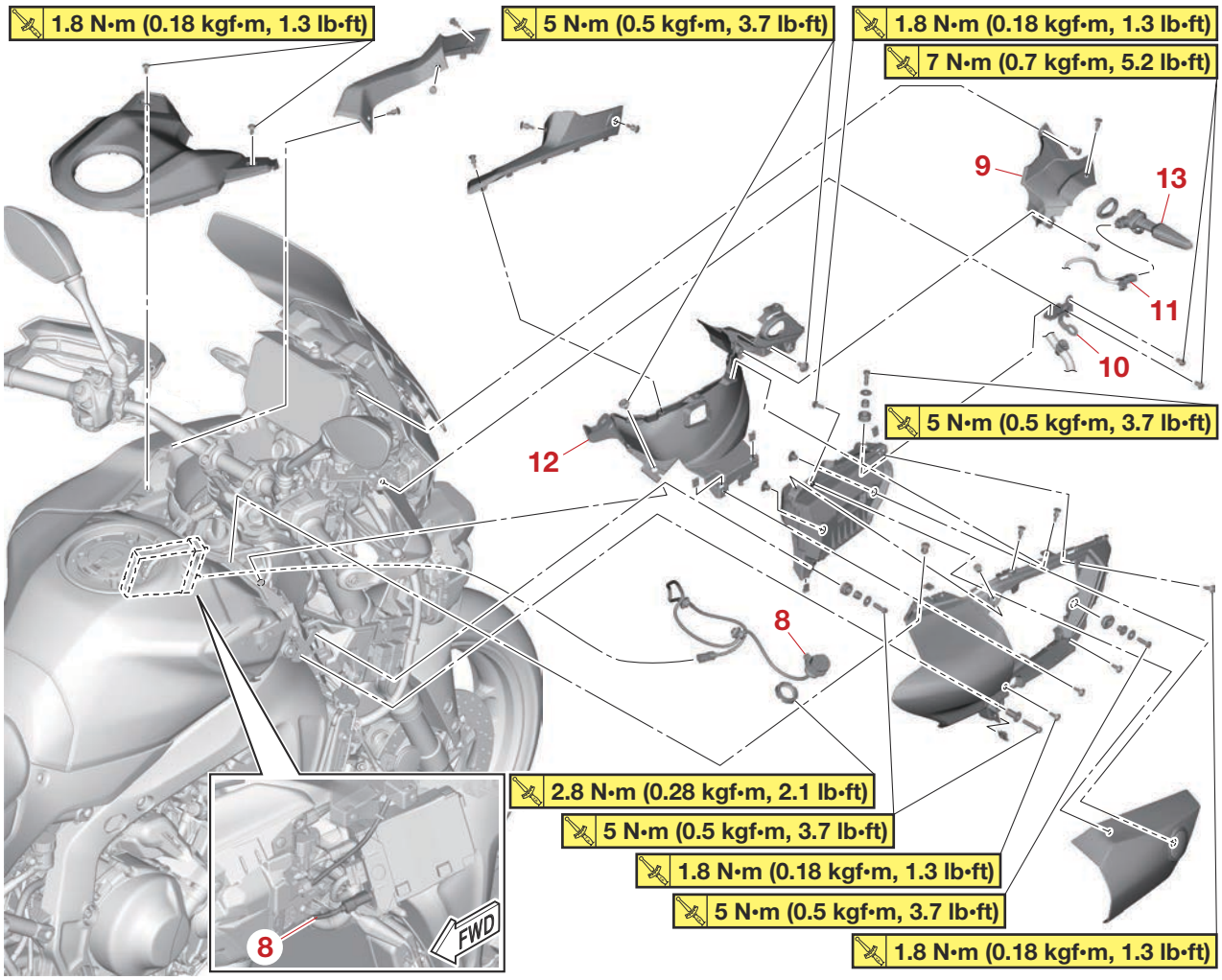
2. エンジンを停止して、測定機器を取り外す。
3. 以下の部品を取り付ける。
   • サービスホースキャップ
4. 以下の部品を取り付ける。
   • エアーフィルターケース
     4-46ページ“カバー類の脱着（4）”参照。
   • フューエルタンク
     7-1ページ“フューエルタンク”参照。
   • フューエルタンクサイドカバーインナーパネル
     4-19ページ“カバー類の脱着（3）”参照。
   • フューエルタンクプロテクター
   • サイドカバー
     4-4ページ“カバー類の脱着（2）”参照。
   • ライダーシートハイトアジャスター
   • ライダーシート
     4-1ページ“カバー類の脱着（1）”参照。

JAS30029

アイドリング排気ガスの測定

1. 車両を平坦な場所で垂直に立てる。

フューエルタンクトップカバーとフューエルタンクサイドカバー Ass'y（右）の取り外し



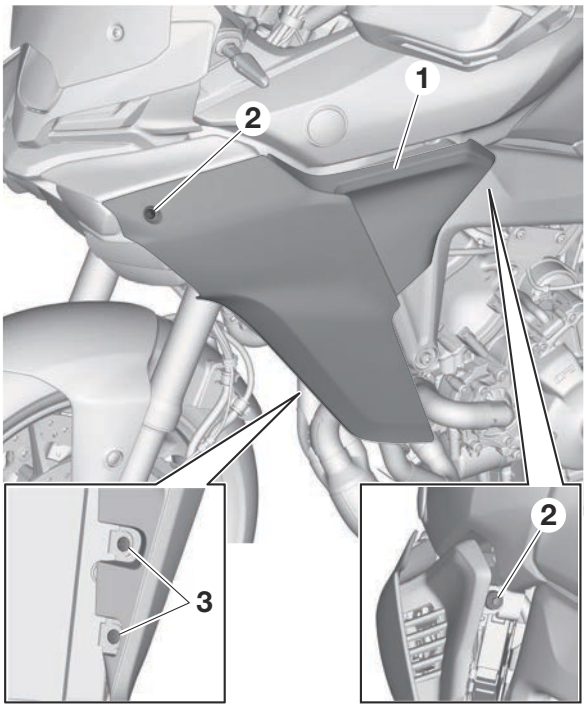
作業手順	作業名／部品名称	個数	備考
8	USB ジャック 3	1	
9	フロントインナーパネル	1	
10	ブラケット	1	
11	フロントフラッシャーライトカプラー	1	接続を外す。
12	フューエルタンクサイドカバーインナーパネル	1	
13	フロントフラッシャーライト	1	

JAS31360

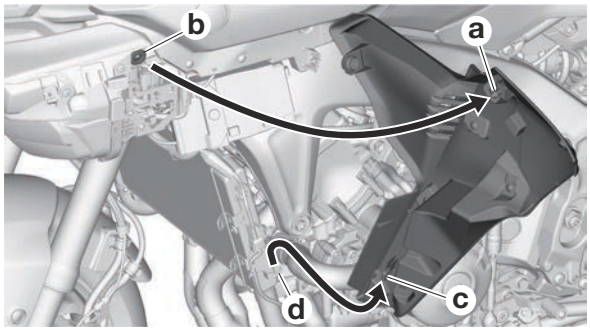
フロントサイドカウリング Ass'y の取り外し

各フロントサイドカウリング Ass'y 共、以下の手順で行う。

1. 以下の部品を取り外す。
   - フロントサイドカウリング Ass'y（左）“1”
     a. フロントサイドカウリング Ass'y ボルト“2”とクイックファスナー“3”を取り外す。



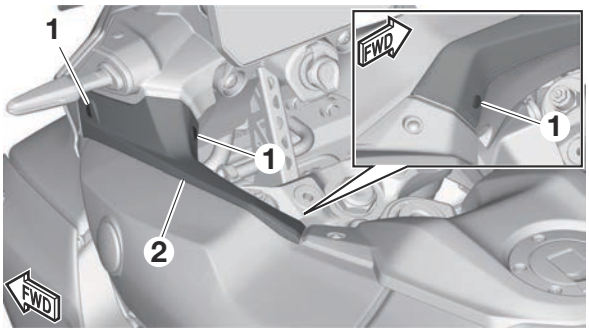
     b. フロントサイドカウリング Ass'y（左）を外側に引く。
     c. フロントサイドカウリング Ass'y（左）の突起部“a”をフューエルタンクサイドカバー Ass'y（左）のグロメット“b”から外す。
     d. フロントサイドカウリング Ass'y（左）の突起部“c”をラジエターサイドブラケット（左）の孔“d”から外す。



JAS34263

フューエルタンクサイドカバーアッパーパネルおよびフューエルタンクトップカバーの取り外し

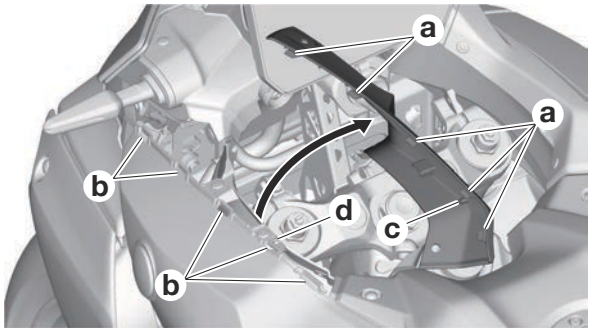
1. 以下の部品を取り外す。
   - フューエルタンクサイドアッパーカバー（左）
   - フューエルタンクサイドアッパーカバー（右）
   - フューエルタンクトップカバー
     a. クイックファスナー“1”を取り外した後、フューエルタンクサイドアッパーカバー“2”を上に引く。



     b. フューエルタンクサイドカバーアッパーパネルの突起部“a”をフューエルタンクサイドカバーの溝“b”から外す。
     c. フューエルタンクサイドカバーアッパーパネルの突起部“c”をフューエルタンクサイドカバーの孔“d”から外す。

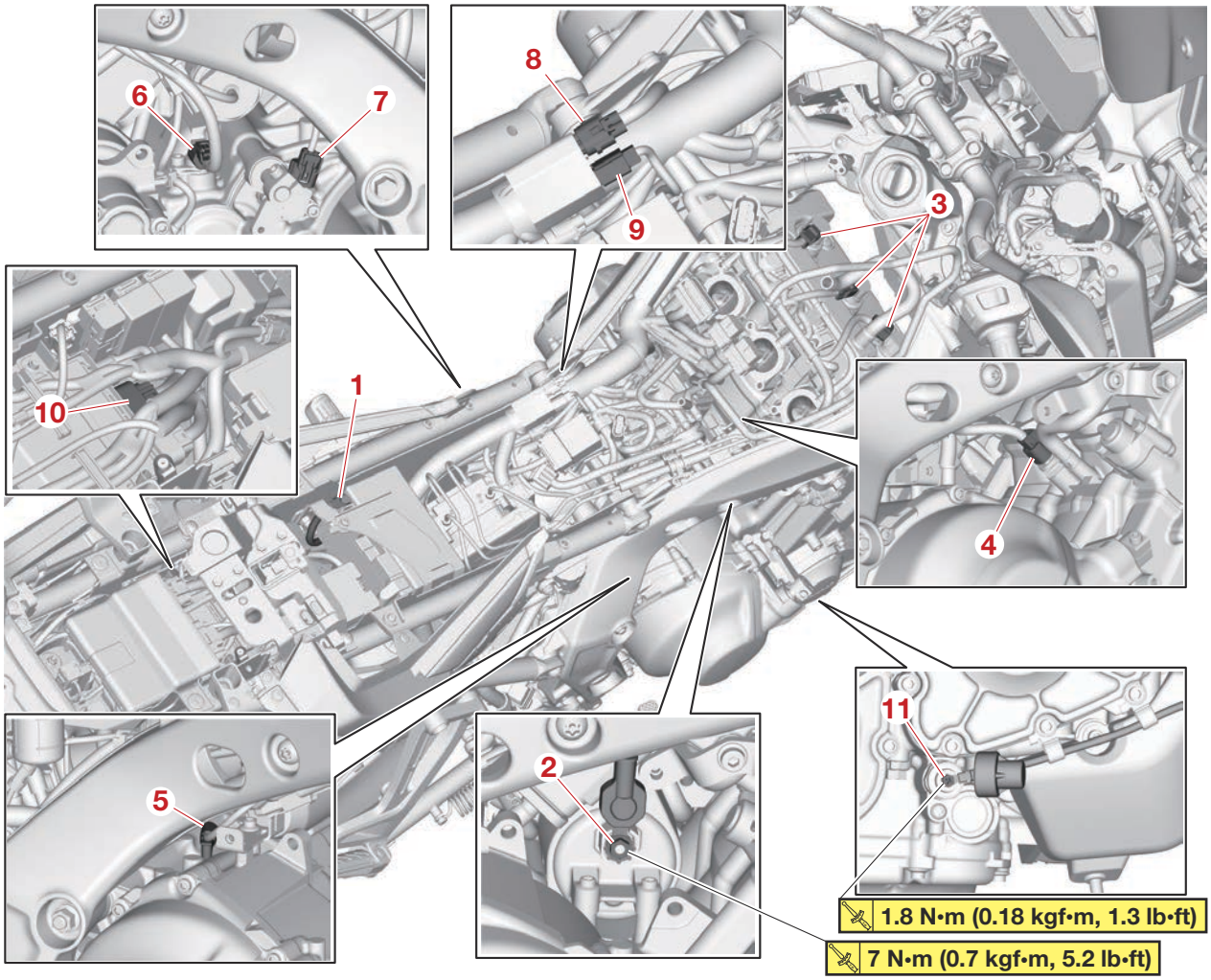
要　点

各フューエルタンクサイドカバーアッパーパネル共、この手順で行う。



     d. スクリュー“3”を取り外した後、フューエルタンクサイドアッパーカバー“4”を上に引く。
     e. フューエルタンクトップカバーの突起部“e”をフューエルタンクキャップ“5”から外す。

リード線、ホース類の取り外し



作業手順	作業名／部品名称	個数	備考
1	バッテリーマイナスリード線	1	接続を外す。
2	スターターモーターリード線	1	接続を外す。
3	イグニッションコイルカプラー	3	接続を外す。
4	水温センサーカプラー	1	接続を外す。
5	ニュートラルスイッチカプラー	1	接続を外す。
6	Y-AMT スピードセンサーカプラー	1	接続を外す。
7	ギヤポジションセンサーカプラー	1	接続を外す。
8	サイドスタンドスイッチカプラー	1	接続を外す。
9	クランクシャフトポジションセンサーカプラー	1	接続を外す。
10	ステーターコイルカプラー	1	接続を外す。
11	オイルプレッシャースイッチリード線	1	接続を外す。

JAS34109
フロント O_2 センサーの交換
1. 以下の部品を締め付ける。
   • フロント O_2 センサー

	フロント O_2 センサー 25 N·m (2.5 kgf·m, 18 lb·ft)

2. 以下のリセットをする。
   • O_2 フィードバックサイクル値
   a. 保護キャップを取り外し、YDT をカプラーに接続する。
   9-2ページ“YDT”参照。

	ヤマハダイアグノースティックツール USB 90890-03274 ヤマハダイアグノースティックツール (A/I) 90890-03273

要　点

• ヤマハダイアグノースティックツール（A/I）（90890-03273）には、YDT サブハーネス（6P）（90890-03266）が含まれる。
• ヤマハダイアグノースティックツール（A/I）（90890-03262）を所有の場合、YDT サブハーネス（6P）（90890-03266）が別途必要である。

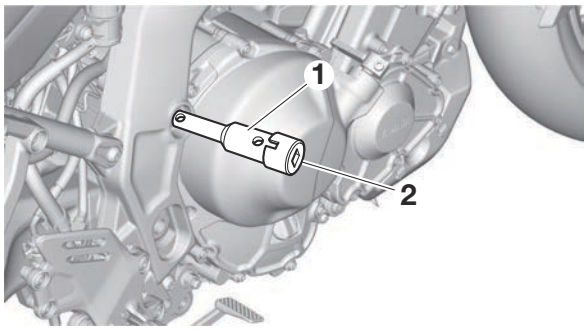
   b. YDT を起動させると、診断機能が表示される。
   c. “FI”を選択する。
   d. 診断モードを実行する（コード 104）。
   9-132ページ“診断コード：センサー作動表”参照。

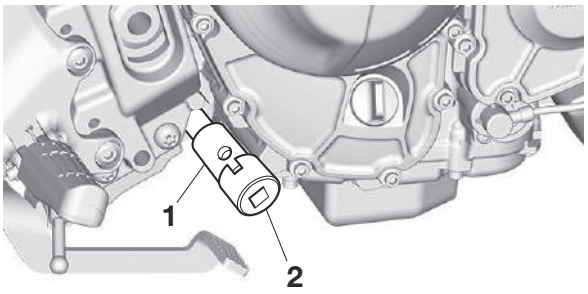
JAS30250
エンジンの取り外し
1. 以下の部品を緩める。
   • エンジンマウントアジャスティングボルト

要　点

ピボットシャフトレンチ“1”とピボットシャフトレンチアダプター“2”を使用して、エンジンマウントアジャスティングボルトを緩める。

	ピボットシャフトレンチ 90890-01518 フレームスパナーソケット YM-01518 ピボットシャフトレンチアダプター 90890-01476

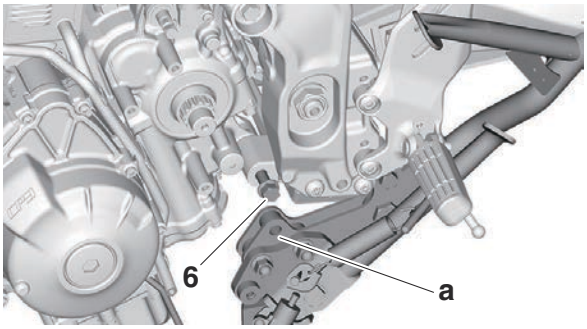




JAS30251
エンジンの取り付け
1. 以下の部品を取り付ける。
   • エンジンマウントアジャスティングボルト（下側）“1”
   （仮締め）
   • エンジンマウントアジャスティングボルト（上側）“2”
   （仮締め）
2. 以下の部品を取り付ける。
   • メインスタンド“3”
   • メインスタンドボルト（左）“4”
   （仮締め）
   • メインスタンドボルト（右）“5”
   （仮締め）
3. 以下の部品を取り付ける。
   • エンジン
4. 以下の部品を取り付ける。
   • エンジンマウントボルト（後下側）“6”
   • エンジンマウントボルト（後上側）“7”

要　点

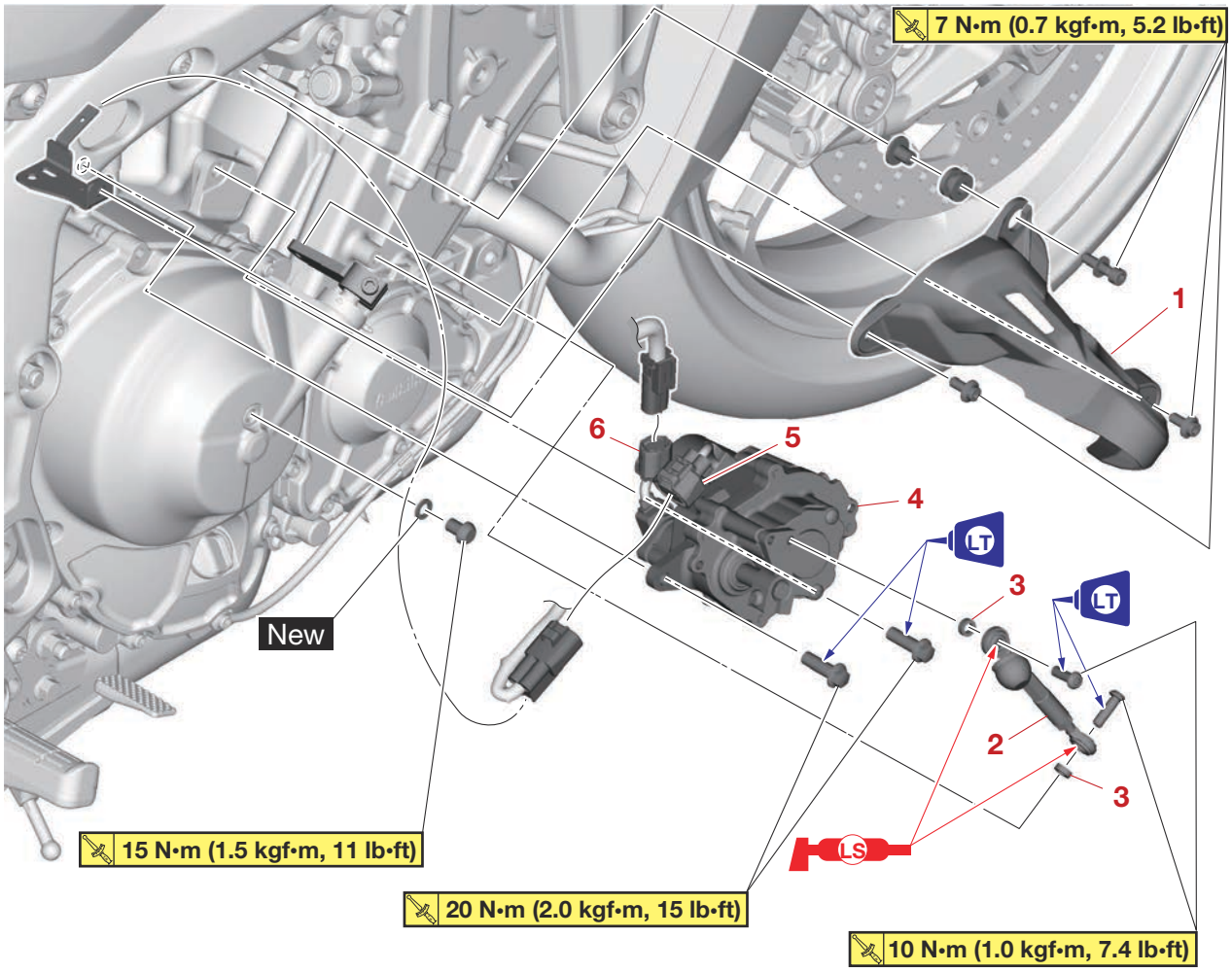
メインスタンドブラケット“a”をエンジンマウントボルト（後下側）“6”に通す必要はない。



JAS20945

クラッチアクチュエーターとクラッチロッド

クラッチアクチュエーターとクラッチロッドの取り外し



作業手順	作業名／部品名称	個数	備考
	カバー		5-64ページ“クラッチ”参照。
1	クラッチアクチュエータカバー	1	
2	クラッチロッド	1	
3	カラー	2	
4	クラッチアクチュエーター	1	
5	クラッチアクチュエーターモーターカプラー	1	接続を外す。
6	クラッチアクチュエーターセンサーカプラー	1	接続を外す。

JAS34124
クラッチアクチュエーターの取り外し
JWA22820

⚠ 警 告

クラッチロッドにクラッチアクチュエーターカバーが取り付けられていない場合は、車両の電源をオンにしないでください。意図しないクラッチ作動が発生し、体の一部や衣服を挟み込み、重傷を負うおそれがあります。

JCA28660

注 意

クラッチアクチュエーターアームとクラッチアクチュエーターセンサーを取り外したり、分解したりしないこと。

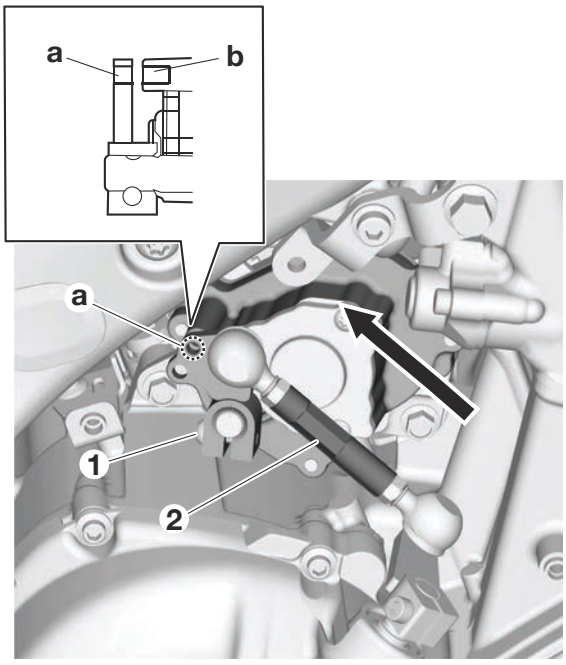
1. トランスミッションをニュートラルの位置にシフトする。
2. 以下の部品を取り外す。
   - クラッチアクチュエータカバー
   - クラッチロッド

JCA28670

注 意

クラッチロッドを取り外すときにクラッチアクチュエーターアームボルト“1”を緩めないこと。緩めると、クラッチアクチュエーターアームとクラッチアクチュエーターの位置がずれ、組み付けの際にクラッチロッドが正しく取り付けられなくなる。

a. クラッチロッド“2”を手で図示の方向に動かして、クラッチアクチュエーターアームの孔“a”をクラッチアクチュエーターの孔“b”に合わせる。



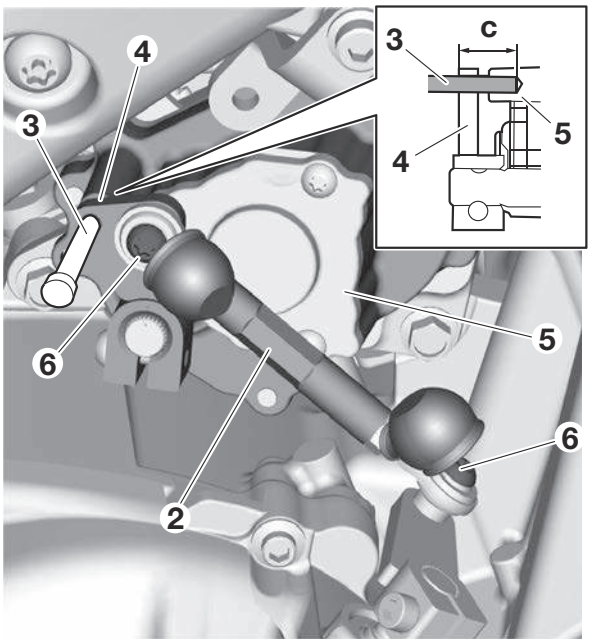
b. 位置決めピン“3”をクラッチアクチュエーターアーム“4”とクラッチアクチュエーター“5”の孔に通してクラッチロッドを保持する。

要 点

位置決めピンは規定の深さ“c”まで挿入する必要がある。

	クラッチロッドアジャスティングツール 90890-01913
	組み付け深さ“c” 18.4 mm (0.72 in)

c. クラッチロッド“2”のボルト“6”を緩める。



d. ロックナット“7”を緩めてクラッチロッド“2”を時計方向“d”（上面視）に回転させる。

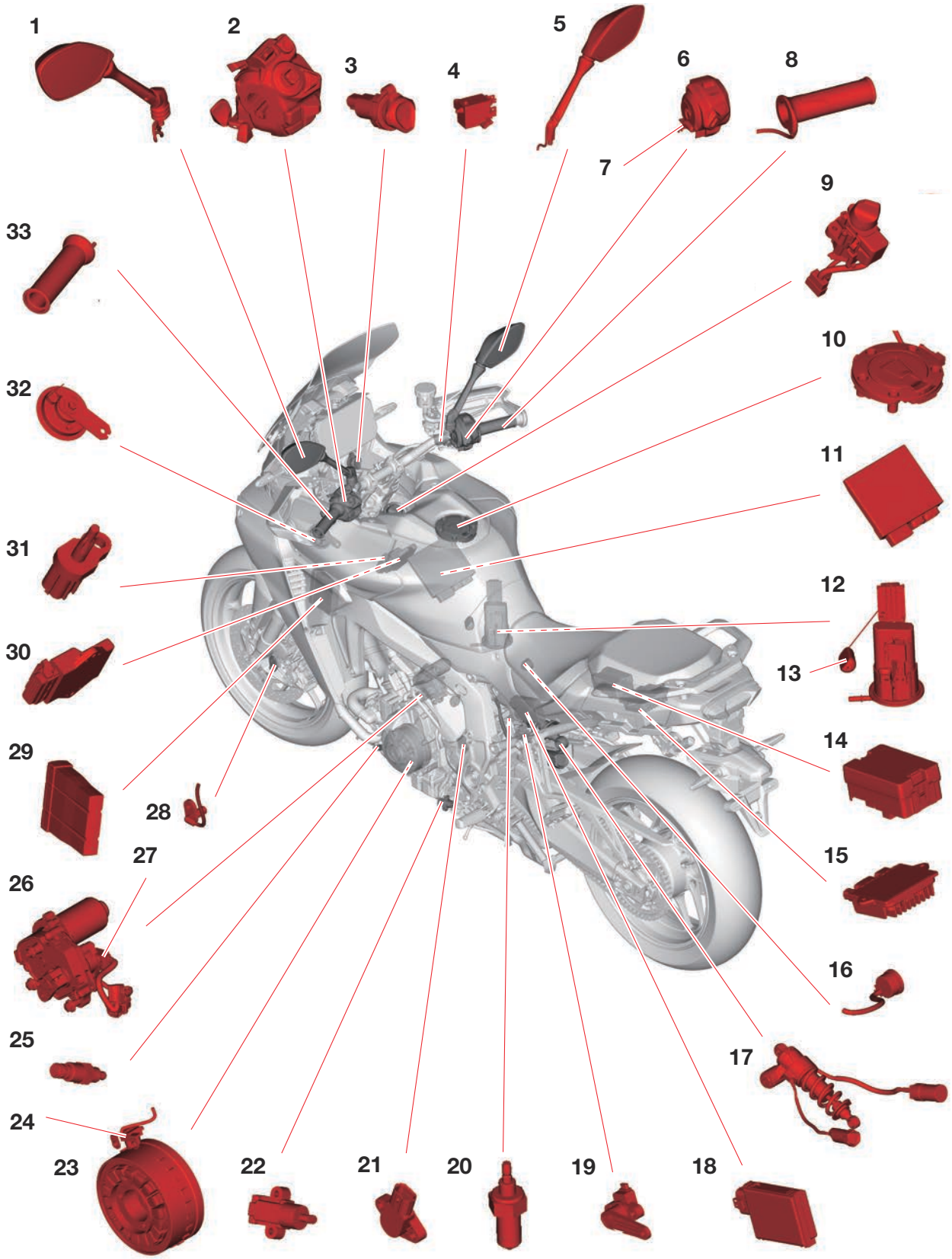
要 点

- クラッチロッドを時計方向に回転させると、クラッチロッドが長くなる。
- エンジン側のクラッチロッドロックナットは左ネジである。

e. ボルト“6”、カラー、およびクラッチロッドを取り外す。

JAS20089
電装品

JAS34262
電装部品配置図（左側図）



JAS34058

ハンドルバースイッチ（左）の点検

デジタルサーキットテスターを使用して、各スイッチの抵抗を点検する。規定値以外の場合、ハンドルバースイッチ（左）を交換する。

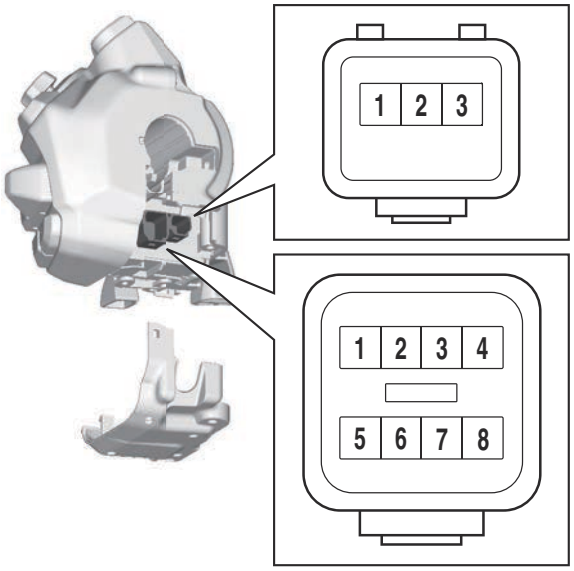
要　点

テスターを端子に接続するときは、端子を曲げないように注意すること。



デジタルサーキットテスター
(CD732)
90890-03243
Model 88 マルチメーターウィズタコメーター
YU-A1927

1. ハンドルバースイッチ（左）カプラーを外す。
2. 図示のように、デジタルサーキットテスター（Ω）をハンドルバースイッチ（左）端子に接続する。



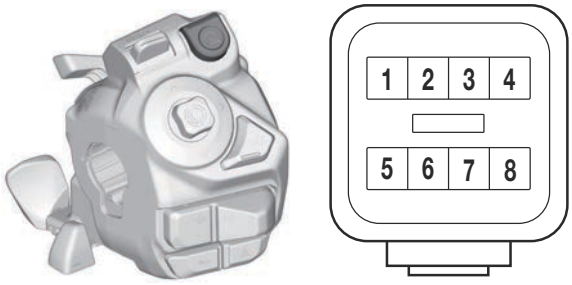
ACC 起動スイッチ

1. 以下の点検をする。
   • ACC 起動スイッチの抵抗値
   規定値以外→交換



抵抗値（押されたとき）
0.19–0.23 kΩ
（“3” と “2” の間）
抵抗値（フリー）
9.44–10.56 kΩ
（“3” と “2” の間）

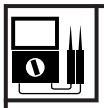
a. デジタルサーキットテスター（Ω）をハンドルバースイッチ（左）端子に接続する。



b. ACC 起動スイッチの抵抗値を測定する。

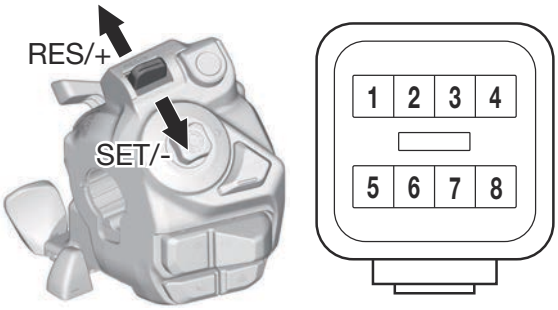
ACC 設定スイッチ

1. 以下の点検をする。
   • ACC 設定スイッチの抵抗値
   規定値以外→交換



抵抗値（RES/+）
0.19–0.23 kΩ
（“1” と “2” の間）
抵抗値（フリー）
9.44–10.56 kΩ
（“1” と “2” の間）
抵抗値（SET/–）
0.46–0.52 kΩ
（“3” と “2” の間）
抵抗値（フリー）
9.44–10.56 kΩ
（“3” と “2” の間）

a. デジタルサーキットテスター（Ω）をハンドルバースイッチ（左）端子に接続する。



b. ACC 設定スイッチの抵抗値を測定する。

ディマー/パッシングスイッチ

1. 以下の点検をする。
   • ディマー/パッシングスイッチの抵抗値
   規定値以外→交換